

平面上の点の座標 (3)

～ 平面上の外分点・重心の座標 ～

講師
水谷 信也

学習のポイント

- ① 平面上の外分点の座標
- ② 三角形の重心とは？
- ③ 三角形の重心の座標の求め方

外分点の座標について考えよう。
そして、三角形の重心の座標の求め方を学習し、
実際に重心の座標を求めてみよう。

1 平面上の外分点の座標

平面上において、2点 $A(x_1, y_1)$, $B(x_2, y_2)$ を結ぶ線分 AB を $m:n$ に外分する点の座標は、

$$\left(\frac{-nx_1 + mx_2}{m - n}, \frac{-ny_1 + my_2}{m - n} \right)$$

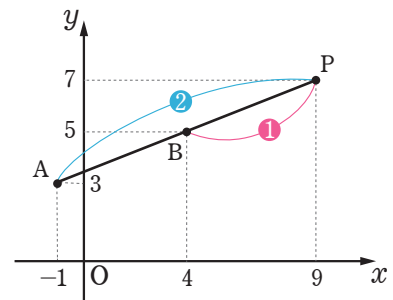
となります。

例 2点 $A(-1, 3)$, $B(4, 5)$ を結ぶ線分 AB を $2:1$ に外分する点 P の

$$x \text{ 座標は, } x = \frac{-1 \times (-1) + 2 \times 4}{2 - 1} = 9$$

$$y \text{ 座標は, } y = \frac{-1 \times 3 + 2 \times 5}{2 - 1} = 7$$

よって, $P(9, 7)$



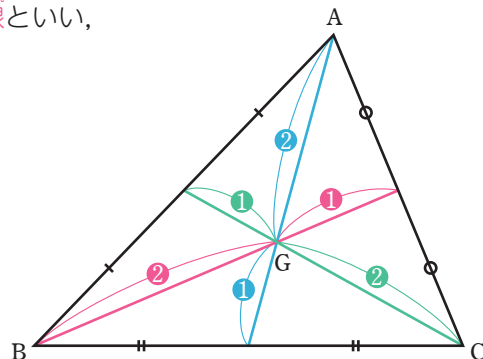
2 三角形の重心とは？

$\triangle ABC$ の各頂点と向かい合う辺の中点を結ぶ線分を ちゅうせん 中線といい、

3つの中線は1点 G で交わります。

その交点 G を $\triangle ABC$ の じゅうしん 重心といいます。

重心 G は、それぞれ中線を $2:1$ に内分しています。



3 三角形の重心の座標の求め方

3点 $A(x_1, y_1)$, $B(x_2, y_2)$, $C(x_3, y_3)$ を頂点とする $\triangle ABC$ の重心 G の座標を求めてみましょう。
 辺 BC の中点 M の座標は、

$$\left(\frac{x_2 + x_3}{2}, \frac{y_2 + y_3}{2} \right)$$

です。

$\triangle ABC$ の重心を $G(x, y)$ とすると、

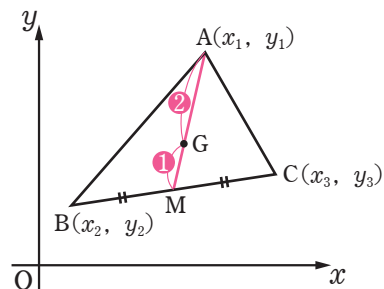
点 G は中線 AM を $2:1$ に内分する点なので、

$$x = \frac{1 \times x_1 + 2 \times \frac{x_2 + x_3}{2}}{2 + 1} = \frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}$$

$$y = \frac{1 \times y_1 + 2 \times \frac{y_2 + y_3}{2}}{2 + 1} = \frac{y_1 + y_2 + y_3}{3}$$

よって、重心 G の座標は、

$$\left(\frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}, \frac{y_1 + y_2 + y_3}{3} \right)$$

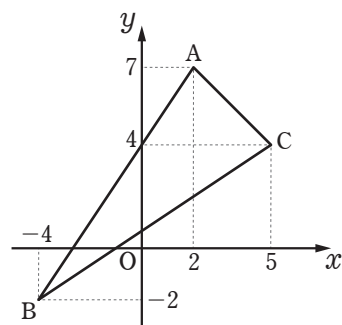


◻ 例 ◻ 3点 $A(2, 7)$, $B(-4, -2)$, $C(5, 4)$ を頂点とする $\triangle ABC$ の重心 G の

$$x \text{ 座標は, } x = \frac{2 + (-4) + 5}{3} = \frac{3}{3} = 1$$

$$y \text{ 座標は, } y = \frac{7 + (-2) + 4}{3} = \frac{9}{3} = 3$$

よって、 $G(1, 3)$



● 三角形の重心が一点で交わり、中線を 2 : 1 に内分する証明

△ABC で、辺 BC の中点を D、CA の中点を E、AB の中点を F とする。

中線 AD と BE の交点を G とすると、

BD = DC より、底辺の長さが等しく、高さが等しい三角形の面積は等しいので

△BDG = △DCG = S とおく

同様にして、

△CEG = △AEG = T とおく

また、△BCE と △BEA も底辺の長さが高さが等しいので面積が等しい。

つまり

△BCE = △BEA かつ △BCE + △BEA = △ABC より

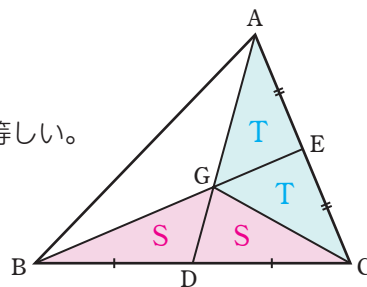
△BCE = $\frac{1}{2}$ △ABC が成り立つ。

同様に △ADC と △ABD の面積は等しく

△ADC = $\frac{1}{2}$ △ABC が成り立つので

△BCE = △ADC, S = T が成り立つ。

したがって、△ACG : △CDG = 2 : 1 より、AG : GD = 2 : 1 …… ①



また、中線 AD と CF の交点を G' とすると、

同様にして

△BDG' = △DCG' = U とおく

さらに、

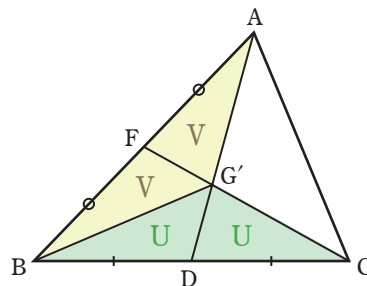
△AFG' = △FBG' = V とおく

△ABD = △BCF = $\frac{1}{2}$ △ABC より U = V

△ABG' : △BDG' = 2 : 1 より AG' : G'D = 2 : 1 …… ②

①②より G = G'

以上より、3 本の中線は 1 点で交わり、中線を 2 : 1 に内分する。



※これは、放送の内容に沿った証明で、別の証明法として、D と E および D と F を結んで中点連結の定理を用いる方法もあります。
